資料1-2

令和４年　月　日

有限責任監査法人トーマツ

金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業事務局宛

**金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業
応募申請書**

金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業について、公募正式書類の記載内容に同意のうえ、下記のとおり応募します。

**基本情報**

|  |
| --- |
| 1. 申請者
 |
| 応募企業名 |  |
| 部署名、役職、氏名 |  |

|  |
| --- |
| 1. 連絡担当者 （２名までご記入いただけます）（役職規定等はございません）
 |
|  | 担当者① | 担当者② |
| 部署名等 |  |  |
| 役職等 |  |  |
| ふりがな氏名 |  |  |
|  |  |
| e-mail アドレス |  |  |
| 電話番号 |  |  |
| 住所 | 〒 | 〒 |

|  |
| --- |
| 1. 支援を受けた後の結果の公開について（希望するものに○）
 |
| ①支援後の結果を全て公開してよい |  | ⇒（４）にお進みください |
| ②一部の数値情報（※１）を除いて結果を全て公開してよい |  | 【非公開となり得る数値情報をご記入ください】 |
| ③その他非公開情報があれば、その詳細をご記入ください | 【公開できない情報についてご記入ください】 |

※１：昨年度事業では、TCFD炭素関連セクター別の融資額の値、炭素強度、ファイナンスドエミッションの値について、参加機関と相談のうえで公表資料から除いています。

|  |
| --- |
| 1. 本パイロットプログラム参加に必要な情報（※２）について（該当するものに○）
 |
| 投融資先のCO2排出量（スコープ１・２、収集している場合にはスコープ３） | 提供可能 | 提供不可能 |
| 投融資先の業種分類、売上高 | 提供可能 | 提供不可能 |
| 投融資先のCDP回答（入手可能な場合） | 提供可能 | 提供不可能 |

※２：資料1-1の「●応募条件」参照。全ての投融資先である必要はありませんが、社数、カバー率などの情報がありましたらご記載ください

**組織情報**

|  |
| --- |
| 1. 脱炭素目標の策定状況
 |
| 中長期の脱炭素目標 | 【中長期（2030・2050年）にかけて、自社及び投融資ポートフォリオの脱炭素目標を策定している場合は詳細内容についてご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. 投融資事業について（※３）
 |
| ①アセットクラスの保有割合について（例：株式、債券、融資、不動産、オルタナティブそれぞれ●割　等） | 【保有割合について詳細をご記入ください。】 |
| ②投融資先の業種割合について（例：石油・ガス、石炭、電力、空運・海運・陸運・自動車、金属・鉱業、化学、建設資材、不動産管理・開発、飲料・食品、農業、製紙・林業等それぞれ●割　等） | 【業種割合について詳細をご記入ください】 |
| ③投融資先の地域性について | 【地理的条件等について詳細をご記入ください】 |
| ④対話・エンゲージメントの想定先について | 【高炭素セクター、サプライチェーン上の中核企業などの特に想定しているセクター・企業、およびどのような対話・エンゲージメントを行いたいかをご記載ください】 |

※３：別添で投融資ポートフォリオがわかる資料を提出ください。

**TCFD開示**

|  |
| --- |
| 1. TCFDへの賛同状況・開示予定について（該当するものに○）
 |
| ①TCFDへの賛同状況について | 賛同している | 賛同を予定している | 賛同していない |
| ②TCFDの提言を踏まえた開示について | 開示している | 開示を予定している | 開示していない |

|  |
| --- |
| 1. ポートフォリオ・カーボン分析の実施状況
 |
| ①ポートフォリオ・カーボン分析の実施状況について、下記1～6のうち最も近い状況から１つを選択下さい。 |
| 1.ファイナンスドエミッションの計測経験がない。  | □ |
| 2.ファイナンスドエミッション計測のうち、トップダウン分析（業界平均等による推計）等によってポートフォリオ上の多排出セクターの絞り込みができている。  | □ |
| 3.トップダウン分析を基に、エンゲージメント等の具体行動に向けてボトムアップ分析（個社開示情報等による積算）等による多排出セクターに係るデータの精緻化ができている。  | □ |
| 4.精緻化されたデータ等を基に、カーボンニュートラルの実現を見据え、地域経済の活性化・投融資先の企業価値向上等を踏まえた移行戦略について、検討を開始している。 | □ |
| 5.移行戦略を基に、投融資先ごとのエンゲージメントに向けた自組織フロント部門に対する脱炭素に係る具体取組等の支援に関する組織体制が構築できている。 | □ |
| 6.上記等を基にした、対話・エンゲージメントを実施している。 | □ |
| ②ポートフォリオ・カーボン分析の対象となる事業・部門 | 【ポートフォリオ・カーボン分析の対象となる事業・部門が既に決まっている方はご記入ください】 |
| ③ポートフォリオ・カーボン分析の実施の希望理由 | 【ポートフォリオ・カーボン分析の実施を希望する理由をご記入ください。】 |

|  |
| --- |
| （９）ポートフォリオ・カーボン分析に対する経営層の理解および実施に向けた社内体制（該当するものに○） |
| ①経営層の理解 | 経営層が意義を認識しており、本事業への協力の了承を得ている | 経営層の理解は獲得できていないが、本事業への協力要請は可能 |
| ②ポートフォリオ・カーボン分析実施にあたる社内体制 | 関連部署（事業部、経営企画等）の参加が可能 | 事務局となる単一部署のみが参加 |
| 【参加可能な部署について詳細をご記入ください】 |
| ③気候関連取組の意志決定プロセス | 明確である | 明確ではない |
| 【具体的な意思決定プロセスについてご記載ください。】 |
| （１０）気候変動関連の取り組みについての情報開示 |
| 気候変動に関する取り組みの開示状況 | 【情報開示媒体とその記載内容についてご記入ください】 |

**気候変動対策**

|  |
| --- |
| （１１）サステナブルファイナンスおよび移行ファイナンスに係る取り組みの状況 |
| ①サステナブルファイナンスおよび移行ファイナンスに関する目標設定やGHG排出量の削減に向けた取り組みの内容 | 【取り組みの詳細内容をご記入ください】 |
| ②サステナブルファイナンスに関する取り組みの内容 | 【関連商品の有無、推進体制、投融資実績等詳細内容をご記入ください】 |
| ③気候変動問題を含めたサステナブルファイナンスに係る取り組みにおける課題 | 【取り組みにおける課題は何か、ご記入ください】 |

|  |
| --- |
| （１２）自社のスコープ１、２の算定状況 |
| スコープ１ | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】 |
| スコープ２ | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】 |

|  |
| --- |
| （１３）自社のスコープ３の算定状況　（※４）（任意） |
| カテゴリ | 現在の排出量と算定範囲 |
| 1 | 購入した物品・サービス |  |
| 2 | 資本財 |  |
| 3 | Scope1・2以外のエネルギー関連活動 |  |
| 4 | 上流の輸送・流通 |  |
| 5 | 廃棄物 |  |
| 6 | 出張 |  |
| 7 | 通勤 |  |
| 8 | 上流のリース資産 |  |
| 9 | 下流の輸送・流通 |  |
| 10 | 販売した製品の加工 |  |
| 11 | 販売した製品の使用 |  |
| 12 | 販売した製品の廃棄 |  |
| 13 | 下流のリース資産 |  |
| 14 | フランチャイズ |  |
| 15 | 投資 |  |
| その他 |  |

※４：各カテゴリに該当しうる活動を算定している場合は、記入欄にご記入ください

|  |
| --- |
| （１４）投融資ポートフォリオ（Scope３カテゴリ15）のGHG排出量の把握状況 |
| スコープ１ | 【現在の把握状況をご記入ください】 |
| スコープ２ | 【現在の把握状況をご記入ください】 |
| スコープ３ | 【現在の把握状況をご記入ください】 |

**その他イニシアティブ（任意）**

|  |
| --- |
| （１５）CDPのスコア（2021年度、気候変動） |
| 2021年度CDPスコア（該当しているものに○） | A | B | C | D | F |
| A- | B- | C- | D- | なし |

|  |
| --- |
| （１６）SBTの参加状況 |
| SBTの現状の取り組み状況（該当しているものに○） | 取り組み済 | 検討中 | 未実施 |

|  |
| --- |
| （１その他のイニシアティブへの参加状況 |
| その他のイニシアティブへの参加状況 | 【参加されているイニシアティブをご記入ください】 |

**支援面談内容（任意）**

|  |
| --- |
| （１８）支援面談については、参加機関の現状やニーズを踏まえた内容を検討しておりますが、現時点でご希望の支援内容がございましたら、ご記載ください。（自社の現状を踏まえた上で、ぜひ具体的にご記載ください。）※５ |
| 第１回支援面談 |  |
| 第２回支援面談 |  |
| 第３回支援面談 |  |
| 第４回支援面談 |  |

※５：ご記載頂いた内容について、必ずしも支援面談の内容に含められない可能性がある旨、あらかじめご承知おきください。

|  |
| --- |
| （１９）本支援を通じた到達目標 |
| 【本事業への参加で期待される成果についてご記載ください。】 |

以上

資料1-2

令和４年○○月××日

有限責任監査法人トーマツ

金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業事務局宛

**金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業
応募申請書**

**＜記入例＞**

金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析パイロットプログラム支援事業について、公募正式書類の記載内容に同意のうえ、下記のとおり応募します。

**基本情報**

|  |
| --- |
| 1. 申請者
 |
| 応募企業名 |  |
| 部署名、役職、氏名 |  |

|  |
| --- |
| 1. 連絡担当者 （２名までご記入いただけます）（役職規定等はございません）
 |
|  | 担当者① | 担当者② |
| 部署名等 |  |  |
| 役職等 |  |  |
| ふりがな氏名 |  |  |
|  |  |
| e-mail アドレス |  |  |
| 電話番号 |  |  |
| 住所 | 〒 | 〒 |

|  |
| --- |
| 1. 支援を受けた後の結果の公開について（希望するものに○）
 |
| ①支援後の結果を全て公開してよい | ○ | ⇒（４）にお進みください |
| ②一部の数値情報（※１）を除いて結果を全て公開してよい |  | 【非公開となり得る数値情報をご記入ください】＜例＞TCFD炭素関連セクター別の融資額 |
| ③その他非公開情報があれば、その詳細をご記入ください | 【公開できない情報について詳細をご記入ください】＜例＞対話・エンゲージメント先の社名（開示資料非掲載先）　　　　　　　　　　　　　 |

※１：昨年度事業では、TCFD炭素関連セクター別の融資額の値、炭素強度、ファイナンスドエミッションの値について、参加機関と相談のうえで公表資料から除いています。

|  |
| --- |
| 1. 本パイロットプログラム参加に必要な情報（※２）について
 |
| 投融資先のCO2排出量（スコープ１・２、収集している場合にはスコープ３） | 提供可能（大手約100社） | 提供不可能 |
| 投融資先の業種分類、売上高 | 提供可能 | 提供不可能 |
| 投融資先のCDP回答（入手可能な場合） | 提供可能 | 提供不可能 |

※２：資料1-1の「●応募条件」参照。全ての投融資先である必要はありませんが、社数、カバー率などの情報がありましたらご記載ください

**組織情報**

|  |
| --- |
| 1. 脱炭素目標の策定状況
 |
| 中長期の脱炭素目標 | 【中長期（2030・2050年）にかけて、自社及び投融資ポートフォリオの脱炭素目標を策定している場合は詳細内容についてご記入ください】＜例＞2050年までに投融資ポートフォリオも含めたネットゼロ排出の実現に取り組むことをコミットし、セクター別の2030年排出削減目標についても検討を開始 |

|  |
| --- |
| 1. 投融資事業について（※３）
 |
| ①アセットクラスの保有割合について（例：株式、債券、融資、不動産、オルタナティブそれぞれ●割　等） | 【保有割合について詳細をご記入ください。】＜例＞投融資額のうち、融資が7割、債券が2割、株式が１割 |
| ②投融資先の業種割合について（例：石油・ガス、石炭、電力、空運・海運・陸運・自動車、金属・鉱業、化学、建設資材、不動産管理・開発、飲料・食品、農業、製紙・林業等それぞれ●割　等） | 【業種割合について詳細をご記入ください】＜例＞企業向け融資額のうち、石油・ガスが１割、電力が１割、自動車関連製造が2割 |
| ③投融資先の地域性について | 【地理的条件等について詳細をご記入ください】＜例＞投融資額の内、関東地方が7割、東北地方が1割、中部地方が2割 |
| ④対話・エンゲージメントの想定先について | 【高炭素セクター、サプライチェーン上の中核企業などの特に想定しているセクター・企業及びどのような対話・エンゲージメントを行いたいかをご記載ください】＜例＞シナリオ分析で高排出セクターの中から重要セクターを選定し、当セクターの代表的な企業を対話・エンゲージメント先として想定している |

※３：別添で投融資ポートフォリオがわかる資料を提出ください。

**TCFD開示**

|  |
| --- |
| 1. TCFDへの賛同状況・開示予定について（該当するものに○）
 |
| * 1. TCFDへの賛同状況について
 | 賛同している | 賛同を予定している | 賛同していない |
| * 1. TCFDの提言を踏まえた開示について
 | 開示している | 開示を予定している | 開示していない |

|  |
| --- |
| 1. ポートフォリオ・カーボン分析の実施状況
 |
| ①ポートフォリオ・カーボン分析の実施状況について、下記1～6のうち最も近い状況から１つを選択下さい。 |
| 1.ファイナンスドエミッションの計測経験がない。 | □✔ |
| 2.ファイナンスドエミッション計測のうち、トップダウン分析（業界平均等による推計）等によってポートフォリオ上の多排出セクターの絞り込みができている。  | □ |
| 3.トップダウン分析を基に、エンゲージメント等の具体行動に向けてボトムアップ分析（個社開示情報等による積算）等による多排出セクターに係るデータの精緻化ができている。  | □ |
| 4.精緻化されたデータ等を基に、カーボンニュートラルの実現を見据え、地域経済の活性化・投融資先の企業価値向上等を踏まえた移行戦略について、検討を開始している。 | □ |
| 5.移行戦略を基に、投融資先ごとのエンゲージメントに向けた自組織フロント部門に対する脱炭素に係る具体取組等の支援に関する組織体制が構築できている。 | □ |
| 6.上記等を基にした、対話・エンゲージメントを実施している。 | □ |
| ②ポートフォリオ・カーボン分析の対象となる事業・部門 | 【ポートフォリオ・カーボン分析の対象となる事業・部門が既に決まっている方はご記入ください】＜例＞経営企画部、融資推進部、リスク管理部等 |
| ③ポートフォリオ・カーボン分析の実施の希望理由 | 【ポートフォリオ・カーボン分析の実施を希望する理由をご記入ください。（部分的にのみ実施しており分析範囲を追加したい場合はその対象をご記載ください）】＜例＞地域の企業の脱炭素化を進めるにあたり、投融資ポートフォリオのカーボンリスクについて把握し、優先順位をつけて取り組むため |

|  |
| --- |
| 1. ポートフォリオ・カーボン分析に対する経営層の理解および実施に向けた社内体制（該当するものに○）
 |
| ①経営層の理解 | 経営層が意義を認識しており、本事業への協力の了承を得ている | 経営層の理解は獲得できていないが、本事業への協力要請は可能 |
| ②ポートフォリオ・カーボン分析実施にあたる社内体制 | 関連部署（事業部、経営企画等）の参加が可能 | 事務局となる単一部署のみが参加 |
| 【参加可能な部署について詳細をご記入ください】＜例＞経営企画部が事務局として参加。ほかに融資推進部、リスク管理部等が参加予定。 |
| ③気候関連取組の意志決定プロセス | 明確である | 明確ではない |
| 【具体的な意思決定プロセスについてご記載ください。】＜例＞四半期ごとのサステナビリティ委員会にて経営陣も含めて議論して意思決定している。 |
| 1. 気候変動関連の取り組みについての情報開示
 |
| 気候変動に関する取り組みの開示状況 | 【情報開示媒体とその記載内容についてご記入ください】＜例＞* 統合報告書（20XX年度）

自社およびグループ会社におけるCO2排出量を20XX年比●●億トン削減* サステナビリティレポート（20XX年度）

20XX年にサステナブルファイナンス目標を設定し、投融資先の脱炭素化に向けた提案活動を推進している |

**気候変動対策**

|  |
| --- |
| 1. サステナブルファイナンスおよび移行ファイナンスに係る取り組みの状況
 |
| ①サステナブルファイナンスおよび移行ファイナンスに関する目標設定やGHG排出量の削減に向けた取り組みの内容 | 【取り組みの詳細内容をご記入ください】＜例＞「2030年までに温室効果ガス排出量を半減する」をグループ共通の目標として掲げており、使用電力を段階的に再エネ電力に切り替える取り組みを行っている。詳細は、HPの「サステナビリティへの取組」（https://www.\*\*\*\*\*.co.jp/ ）を参照されたい。 |
| ②サステナブルファイナンスに関する取り組みの内容 | 【関連商品の有無、推進体制、投融資実績等詳細内容をご記入ください】＜例＞20XX年からバイオマス発電に投融資を行っている（投融資額はXX万円）。詳細は、HPの「サステナビリティへの取組」（https://www.\*\*\*\*\*.co.jp/ ）を参照されたい。 |
| ③気候変動問題を含めたサステナブルファイナンスに係る取り組みにおける課題 | 【取り組みにおける課題は何か、ご記入ください】＜例＞融資先企業に中堅・中小企業が多く、GHG排出量把握がハードルとなっている |

|  |
| --- |
| 1. 自機関のスコープ１、２の算定状況
 |
| スコープ１ | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】＜例＞●● t-CO2／年算定範囲は施設、車両分を含む |
| スコープ２ | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】＜例＞●● t-CO2／年算定範囲は空調分を含む |

|  |
| --- |
| 1. 自機関のスコープ３の算定状況　（※４）（任意）
 |
| カテゴリ | 現在の排出量と算定範囲 |
| 1 | 購入した物品・サービス | ●● t-CO2／年　従業員制服、通帳、カードの製造分 |
| 2 | 資本財 | ●● t-CO2／年　使用車両やATM製造分 |
| 3 | Scope1,2以外のエネルギー関連活動 | ●● t-CO2／年事業で使用した電気と熱の製造分 |
| 4 | 上流の輸送・流通 | 該当なし |
| 5 | 廃棄物 | 未算定 |
| 6 | 出張 | ●● t-CO2／年　従業員の出張時の交通機関の燃料・電力消費分 |
| 7 | 通勤 | ●● t-CO2／年　従業員の通勤時の交通機関の燃料・電力消費分 |
| 8 | 上流のリース資産 | 該当なし |
| 9 | 下流の輸送・流通 | 該当なし |
| 10 | 販売した製品の加工 | 該当なし |
| 11 | 販売した製品の使用 | 該当なし |
| 12 | 販売した製品の廃棄 | ●●　t-CO2／年通帳・カードの廃棄分 |
| 13 | 下流のリース資産 | 該当なし |
| 14 | フランチャイズ | 該当なし |
| 15 | 投資 | 未算定 |
| その他 | ●● t-CO2／年店外のATM電力使用量を算定済 |

※４：各カテゴリに該当しうる活動を算定している場合は、記入欄にご記入ください

|  |
| --- |
| 1. 投融資ポートフォリオのGHG排出量の把握状況
 |
| スコープ１ | 【現在の把握状況をご記入ください】＜例＞高排出セクターを対象に取り組みを開始し、電力セクターの開示情報を収集 |
| スコープ２ | 【現在の把握状況をご記入ください】＜例＞高排出セクターを対象に取り組みを開始し、電力・エネルギーセクターの開示情報を収集 |
| スコープ３ | 【現在の把握状況をご記入ください】＜例＞スコープ3が重要な自動車セクターから取り組みを開始し、上場先のデータ収集を開始 |

**その他イニシアティブ（任意）**

|  |
| --- |
| 1. CDPのスコア（2021年度、気候変動）
 |
| 2021年度CDPスコア（該当しているものに○） | A | B | C | D | F |
| A- | B- | C- | D- | なし |

|  |
| --- |
| 1. SBTの参加状況
 |
| SBTの現状の取り組み状況（該当しているものに○） | 取り組み済 | 検討中 | 未実施 |

|  |
| --- |
| （１７）ネットゼロ関連等のイニシアティブへの参加状況 |
| ネットゼロ関連等のイニシアティブへの参加状況 | 【参加されているイニシアティブをご記入ください】■■に参加。 |

（１８）、（１９）の「支援面談内容」に係る任意項目につきましては、自社の分析状況や応募目的等を踏まえ、ぜひ支援面談に関するご要望と到達目標を自由にご記載ください。

以上